

令和元年度1学期いじめの実態と未然防止・ 早期発見・早期対応の取組について



学校教育部 児童生徒課

令和元年度柏市 1 学期いじめの状況調査



調査対象
令和元年度

柏市内小学校 42校:22, 115人
柏市内中学校 21校: 9, 857人
(令和元年5月1日現在)

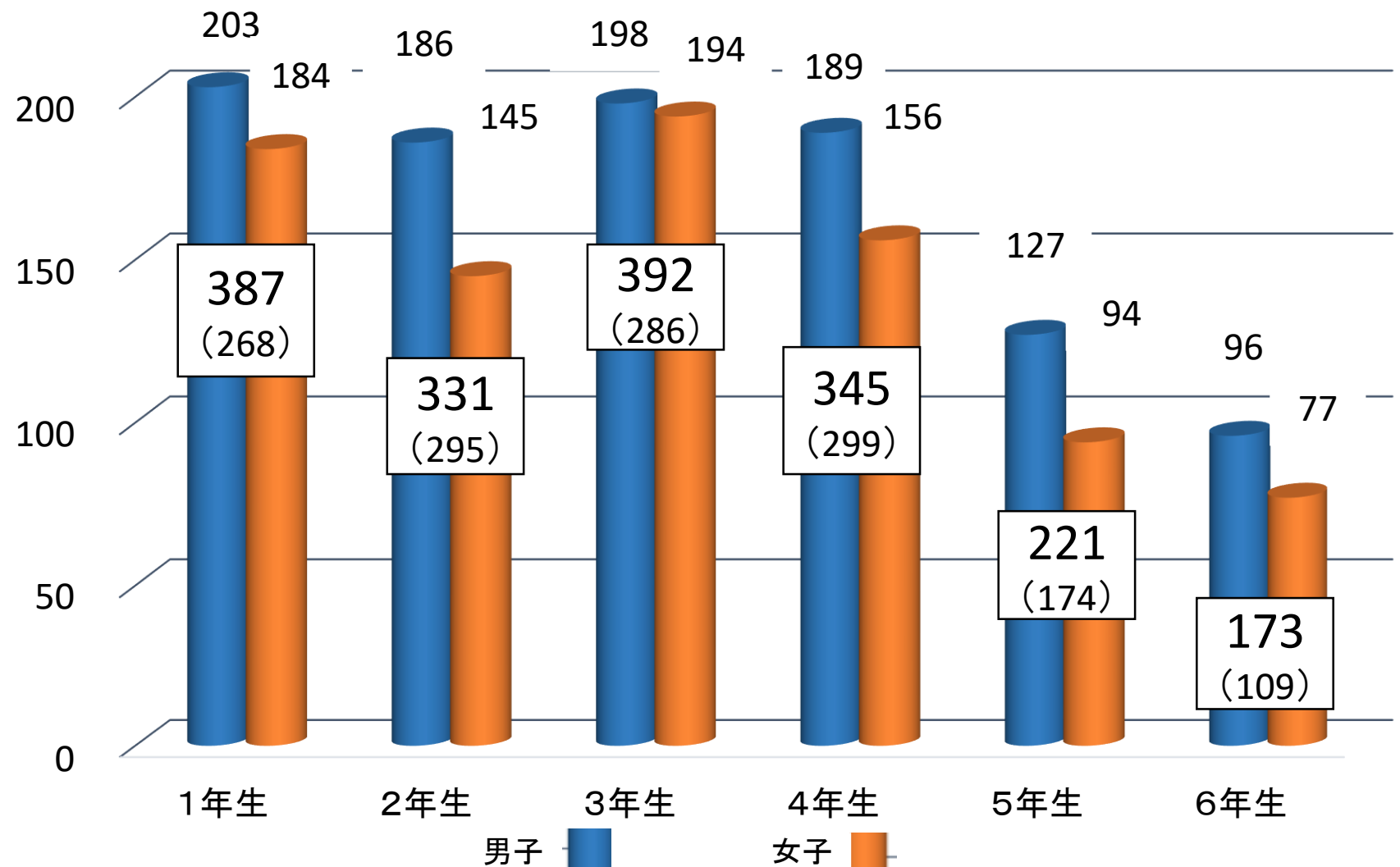
令和元年度 1 学期 いじめの調査結果

	小学校	中学校	合計
認知件数	1,849 (1,431)	364 (347)	2,213 (1,778)
解消	1,548 (1,209)	297 (205)	1,845 (1,414)
未解消	301 (222)	67 (142)	368 (364)



令和元年度 1 学期柏市いじめの状況調査より（2019年7月実施）
※（ ）内は昨年同時期（2018年7月）実施の値

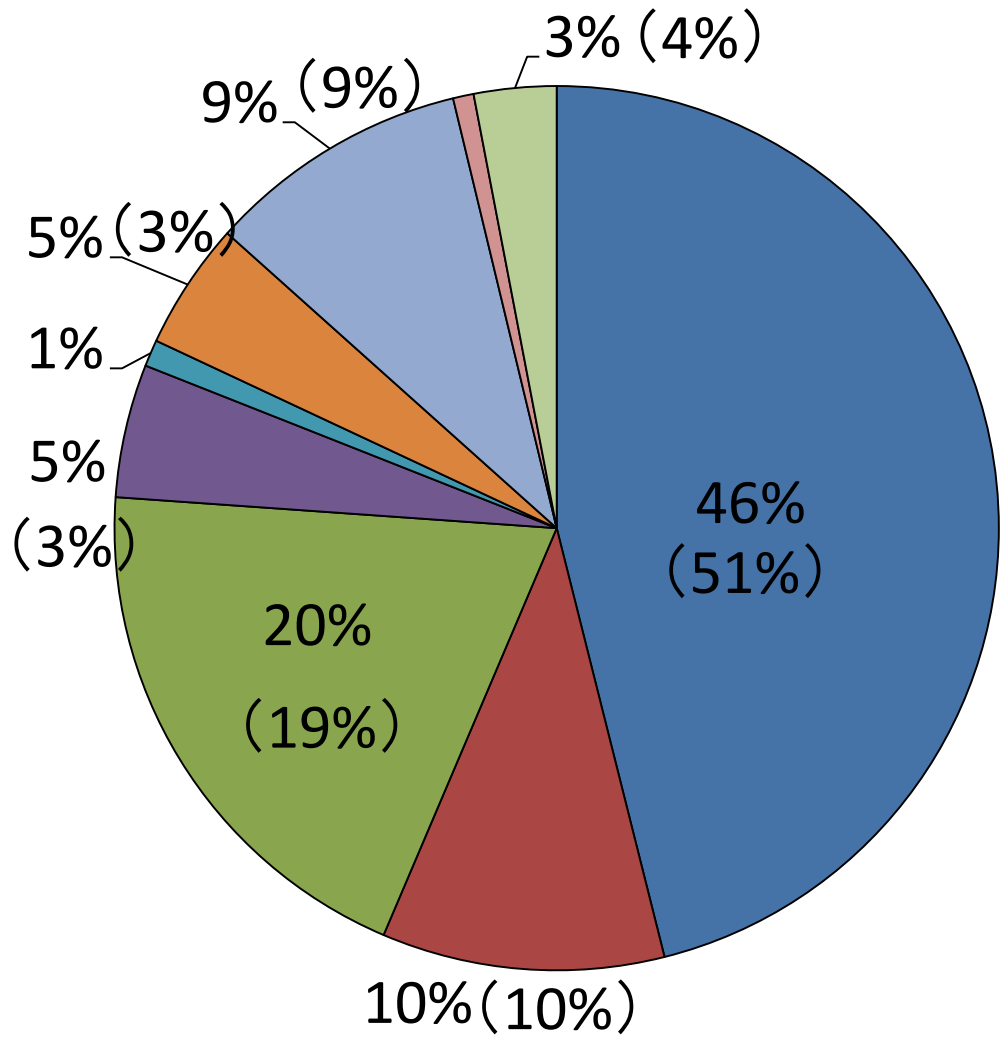
いじめの学年別内訳（小学校）



令和元年度1学期柏市いじめの状況調査より（2019年7月実施）

※（ ）内は昨年同時期（2018年7月）実施の値

いじめの態様（小学校）



- 冷やかしやからかい, 悪口や脅し文句, 嫌なことを言われる。 1040
- 仲間はずれ, 集団による無視をされる。 223
- 軽くぶつかられたり, 遊ぶふりをして叩かれたり, 蹴られたりする。 445
- ひどくぶつかられたり, 叩かれたり, 蹴られたりする。 110
- 金品をたかられる。 22
- 金品を隠されたり, 盗まれたり, 壊されたり, 捨てられたりする。 105
- 嫌なことや恥ずかしいこと, 危険なことをされたり, させられたりする。 217
- パソコンや携帯電話等で, 誹謗中傷やいやなことをされる。 17
- その他 68

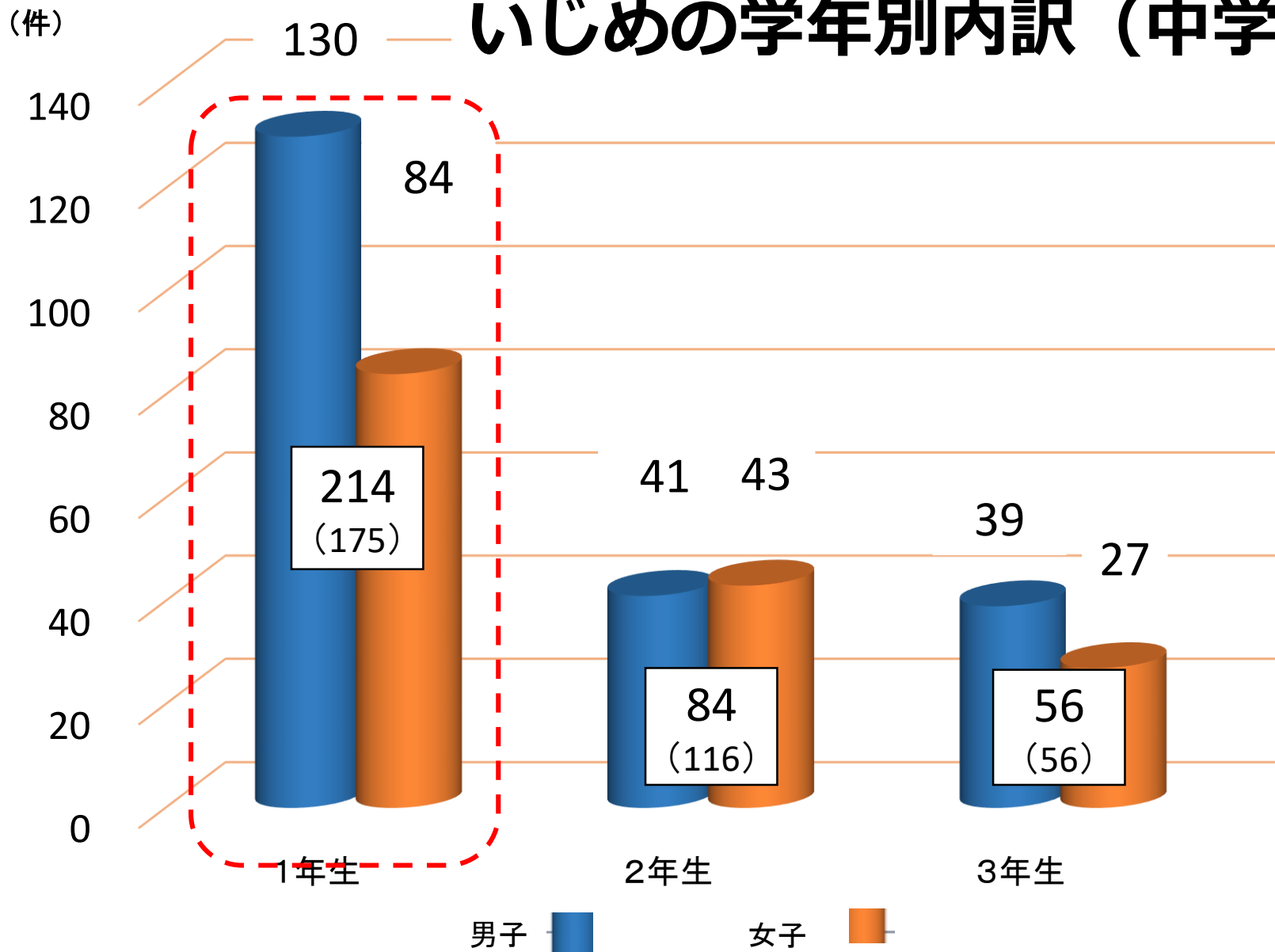
※金品にはオンラインゲーム上でのアイテムのやり取り等も含まれる

(件)

令和元年度 1 学期柏市いじめの状況調査より (2019年7月実施)

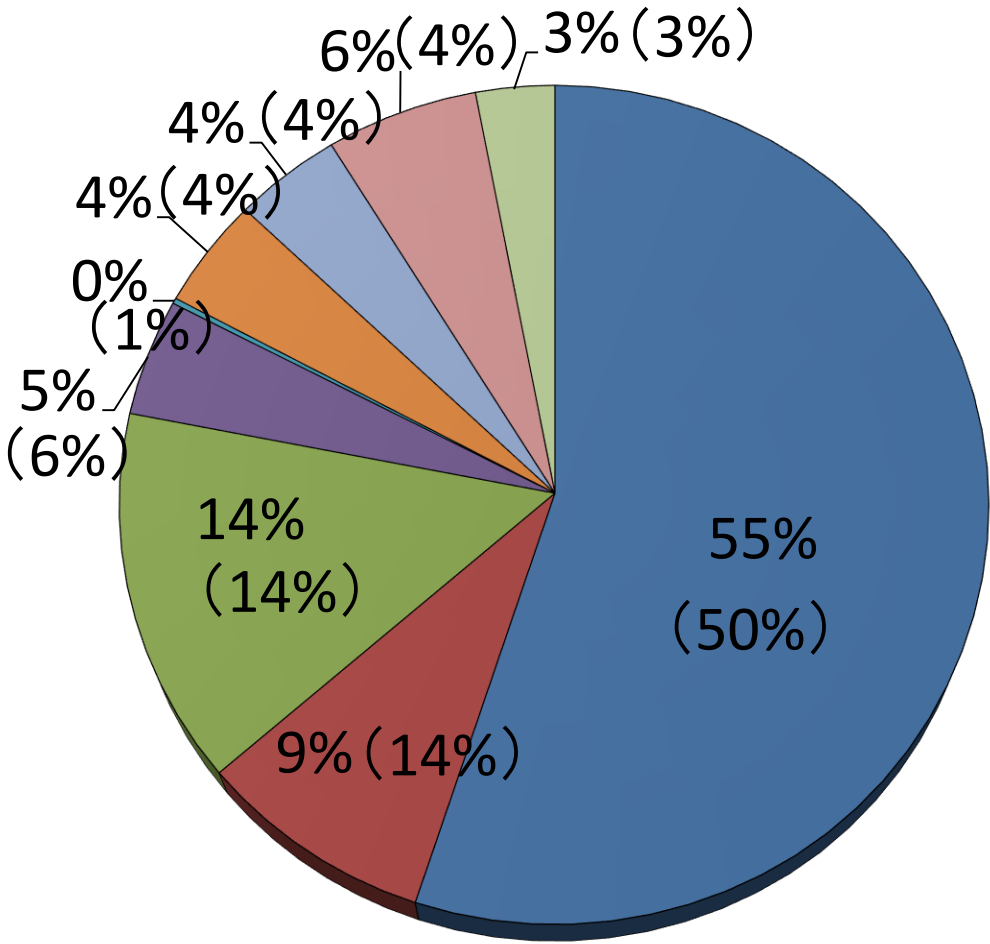
() 内は昨年同時期 (2018年7月) 実施の値

いじめの学年別内訳（中学校）



令和元年度 1 学期柏市いじめの状況調査より（2019年7月実施）
（ ）内は昨年同時期（2018年7月）実施の値

いじめの態様（中学校）



- 冷やかしやからかい, 悪口や脅し文句, 嫌なことを言われる。 256
- 仲間はずれ, 集団による無視をされる。 40
- 軽くぶつかられたり, 遊ぶふりをして叩かれたり, 蹴られたりする。 67
- ひどくぶつかられたり, 叩かれたり, 蹴られたりする。 21
- 金品をたかられる。 1
- 金品を隠されたり, 盗まれたり, 壊されたり, 捨てられたりする。 20
- 嫌なことや恥ずかしいこと, 危険なことをされたり, させられたりする。 19
- パソコンや携帯電話等で, 誹謗中傷やいやなことをされる。 27
- その他 14

※金品にはオンラインゲーム上でのアイテムのやり取り等も含まれる

(件)

令和元年度 1 学期 柏市 いじめの状況調査より (2019年7月実施)
 () 内は昨年同時期 (2018年7月) 実施の値

STOPitアプリ相談状況(令和元年度)

2019年4月1日から9月22日まで

相談件数 90件

中1：57件 中2：20件 中3：13件

1. 本人のいじめについて	15
2. 本人以外のいじめについて	5
3. 部活動について	0
4. ネットトラブルについて	2
5. 教員の指導について	29
6. その他の相談について	36
7. 相談以外(挨拶や問い合わせ等)	3
合計(件)	90

※ 5. 教員の指導
○部活動の暴言
○授業中の差別等

※ 6. その他の相談
○家族間トラブル
○自分自身の悩み
・LGBT
・身体
・勉強 等

いじめをはじめとした様々な相談

いじめの未然防止の 取組・早期発見・早 期対応の取り組み



We  Kashiwa

柏市いじめ防止基本方針

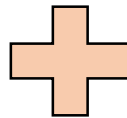


柏市・柏市教育委員会

いじめ防止基本方針改定の内容にも反映させる方向でご検討ください。

各学校のいじめの実態把握

「いじめ防止授業」の実施



「脱いじめ傍観者」及び「SOSの出し方教育」をテーマにした授業の実施

「〇〇小をいじめのない学校にしよう」



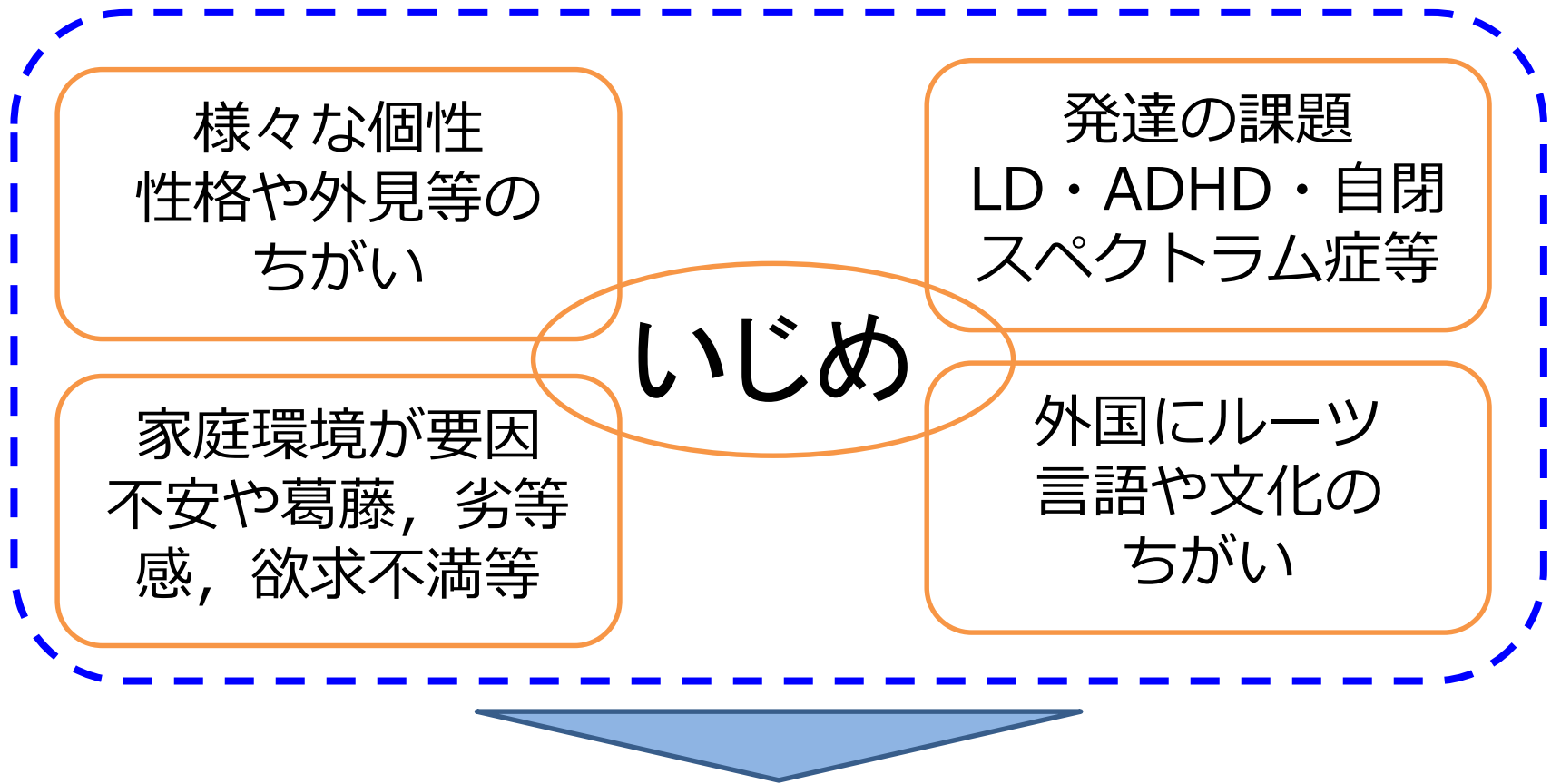
柏市教育委員会

『個性』や『違い』を認め合う雰囲気
『いじめの定義』について
信頼できる『相談窓口』の紹介

STOPitアプリをはじめとする
信頼できる相談窓口の周知



いじめ：生徒指導・教育相談・家庭環境・発達の課題等、様々な背景が複雑に絡み合っている



多様性を認め、子どもたち一人
ひとりを大切にする意識

多様性を認め合う意識

特別支援
教育

人
権
教
育

外国に
ルーツ

家庭環境

LGBT



①教職員への研修

- 特別支援教育の意識
- 家庭環境等、配慮が必要な児童生徒の理解と対応
- 「性同一性障がいや性的指向・性自認に係る児童生徒への理解と対応」研修

○特別支援教育（児童生徒課に特別支援教育を移管）

LD・ADHD・自閉スペクトラム症，発達障害等の状態を示す児童生徒が、いじめの対象となったり不適応を起こしたりする場合があります、それが不登校につながる場合があるなどとの指摘もあることから、**学校全体で特別支援教育を推進することにより、いじめや不登校を未然に防止する効果も期待される。**

※文部科学省（2005）中央教育審議会 特別支援教育を推進するための制度の在り方について（答申）より抜粋

- 【研修】
- ・ 特別支援教育の理念
 - ・ 発達障害の基本と指導のポイント
 - ・ 事例紹介

- ・スクールソーシャルワーカー研修
- ・学習支援サポート教員研修
- ・生徒指導サポート教員研修
- ・特別支援教育サポート教員研修
- ・教育支援員研修 等



☆ 本日の研修会で参考になったことや実践したいと思ったことについて書いてください。

良い所を引き出すという言葉がとて勉強になりました。つい「ツカマズ」という視点にとづえがちな、してしまうが、その子の特性を理解して、ちがいの見方を変えつ、良い所、出来ることと伸ばしてあげたいと思います。

☆ 本日の研修会で参考になったことや実践したいと思ったことについて書いてください。

「出来ないことを出来るようにすることお、出来ることをのびサポート」
この二つを心がけて支援して、こう思いました。
一人一人に合わせた支援方法で、一人ひとりの生徒の笑顔を見たこと改めて感じた研修会でした。

その子なりの成長を認め、良いところを引き出す。
一人ひとりに合わせた支援方法を意識する

○家庭環境等、配慮が必要な児童生徒の 理解と対応

虐待

貧困

外国に
ルーツ

保護者の
精神疾患

虐待や貧困等，特別な事情を抱えている児童生徒については，不安や葛藤，劣等感，欲求不満等が潜んでおり，そのことがきっかけでいじめの加害者にも被害者にもなりえる。

生徒指導主任とSSW・民生委員との合同研修
⇒いじめの「内容」だけでなく、その「背景」
に何があるか見つめる視点

保護者への支援

- 不安定な収入 — 社会福祉協議会
- 精神疾患 — 精神科医療
- 発達課題 — こども福祉課

【事例】・小学校〇年生男児

- ・他の児童への暴言, 暴力 (いじめ)
- ・授業中の離席
- ・保護者同士のトラブル

児童への支援

- 見立て — SSW
- 学習支援 — 学童ルームとの連携
- 個別対応 — 特別支援学級

○ 「性同一性障がいや性的指向・性自認に係る児童生徒への理解と対応」研修

※ 3年間で全ての教職員へ研修を実施。今後も初任者や他市から異動してきた職員向けに実施予定

性的マイノリティの若者

約7割がいじめや暴力を受けた経験がある

(いのちリスペクト。ホワイトリボンキャンペーン調査)

日本の人口の**8.9%** (出典：電通ダイバーシティ・ラボLGBT調査2018)



人との『ちがい』がいじめにつながっている。互いに認め合うという『人権意識』



学校現場の人権意識

性格
外見

発達
課題

家庭
環境

性的マイ
ノリティ



多様性を切り口に、一人一人様々な個性があること、そのうえで互いを尊重し合うことがいかに大事なことが考えさせる。

いじめの未然防止の土台

②いじめ防止に向けた各機関との連携

生徒指導主任連絡協議会研修

民生委員・主任児童委員の方を招き、研修を実施すると共に情報交換会を実施

地域・社会福祉協議会との連携



こどもルームリーダー研修会

学校との連携が必要不可欠

市内こどもルーム42のリーダーが参加する「こどもルームリーダー研修」において「いじめの防止とその対策」のテーマで研修を実施した。

こどもルーム・学童保育課との連携

【生徒指導アドバイザー】

10名体制 小学校32校 中学校2校に派遣

【スクールサポーターの配置】

7名体制 小学校1校 中学校6校に配置

【スクールソーシャルワーカーの活用】

11名体制 3つの学習相談室及び11の
中学校区に配置

【生徒指導サポート教員の配置】

9名体制 中学校9校に配置

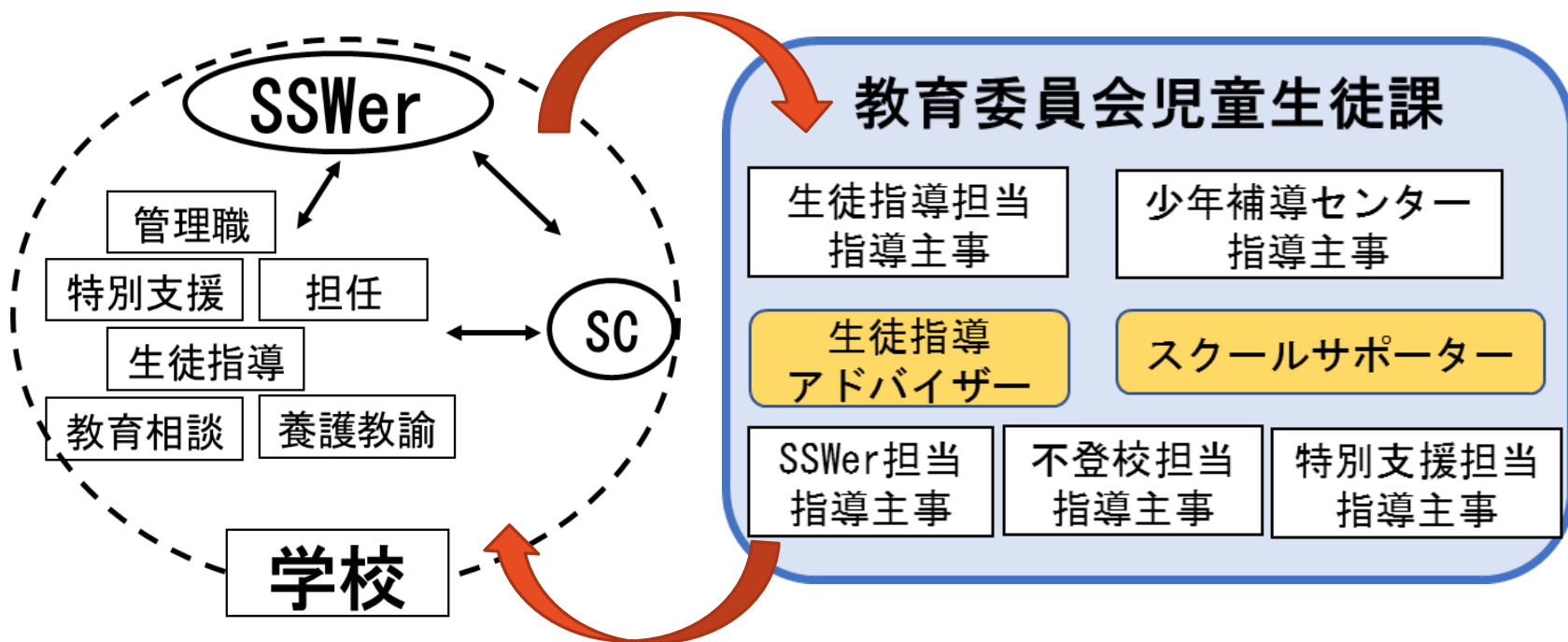
チーム対応

いじめ問題対策連絡協議会

各種関係機関との連携と問題の協議

いじめ防止対策
推進法14条①

医師・弁護士・学識経験者等, 第三者の参加



③正しいSOSの出し方教育の推進

いじめをはじめとする悩みを抱えた時

「現在起きている危機的状況，又は今後起こり得る危機的状況に対応するために，適切な援助希求行動（**身近にいる信頼できる大人にSOSを出す**）ができるようにすること」，「**身近にいる大人がそれを受け止め，支援ができるようにすること**」を目的とした教育

映像教材等の活用



相談窓口の存在の周知するとともに、教職員や保護者に相談することを促し、いじめをはじめとする悩みを抱えている友人を助けるような行動を取りやすいように後押しする取組。

いじめ撲滅に取り組む一般社団法人「てとり」と協力し、アスリートの社会貢献活動を支援する「日本財団HEROs」、そしてアスリートらと共に、子どもたちへのメッセージ映像を作成した。





【#standbyyou】あなたの笑顔を守りたい



後で見る



共有



STOPitアプリ及び柏市HPで配信

柏市の中学生の皆さん、こんにちは。いよいよ2学期がはじまります。夏休みが終わってしまうのは少し寂しいですね。今どんな気持ちですか？「早く学校へ行って、友達と会いたい！」と楽しみにしている人もいます。一方で、「宿題がおわってない…」「友達との人間関係に悩んでいる…」「部活動が辛い…」「進路や勉強について悩んでいる…」など、不安な気持ちを抱えている人もいます。

不安を抱えている人は、どうか一人で悩まずに、身近な大人に相談してください。皆さんの周りには、寄り添ってくれる、手を差し伸べてくれる大人がいます。信頼できる大人に相談することが、不安の解消につながるかもしれません。

私たちはこのアプリを作ったストップイットジャパン株式会社と協力して、みなさんに伝えたいメッセージを動画にしました。下記のリンクにアクセスすると動画を見ることができます。よかったら視聴してください。

また、周囲の人に相談しにくければこのストップイットアプリに連絡してください。私たちは、悩みを抱えている皆さんの力になりたいと考えています。

動画

「<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000001.000048024.html>」

柏市教育委員会